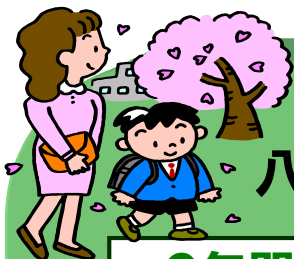


はばたきプラン



八潮市が目指す小中一貫教育とは、



9年間の連続性・系統性を生かす教育の推進 です。

小中学校をつなぎ、義務教育9年間にわたる連続性・系統性を生かした学習指導、生徒指導の実施により「**学力の向上**（基礎基本の定着と自ら学ぶ力の育成）」と「**豊かな心の育成**（異学年交流の充実や不登校問題の解消）」を目指します。

9年間の小中学校のつながりを大切にしながら、その学年で身につけなければならないことを確実に身につけ、それを次の学年へとつないでいきます。



保護者や地域のみなさん、そして学校が一緒になって、次代を担う子どもたちを育てていきます。

本市は、平成19年度に2つの中学校区を研究委嘱校として指定し、小中一貫教育がスタートしました。平成20年度には市内全ての学校を研究指定校とし、交流活動や八潮市独自の(※)教育課程(えらべる科、ふるさと科、英語活動)が段階的に実施されました。

(※)教育課程とは…主に教科、学習内容、時間数のことを言います。

平成22年度からは、市内全校で教育課程の全面実施が始まり、新たな取り組みも始まっています。平成23年度も、小中一貫教育の充実を目指し、様々な取組を行っていきます。

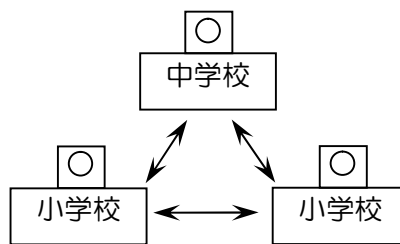
プラン1

小中一貫教育における教育課程を着実に実施していきます。

■小中一貫教育にかかわる教科(「こくさい科(平成23年度から、これまでの「英語活動」から「こくさい科」に変わります)」、「ふるさと科」、「えらべる科」)を年間計画に則り、全小中学校で実施し、**施設分離型**の小中一貫教育を推進していきます。

Q. 施設分離型って、なあに？

A. 施設分離型とは、小中学生が同じ施設の中で教育活動を行う施設一体型とは違い、小学校と中学校が別々の施設で行います。建物は離れていますが、児童生徒や教職員、PTA等が連携し、様々な取組を実践しながら、児童生徒のより良い成長のために、9年間を見通した学習指導や生徒指導を行います。



■9年間の学びの中で、特に5、6、7年生をうまく結びつけながら小中学校をつないだ指導を行います。

■小中一貫教育にかかわる教科の年間授業時数(H23年度)

	こくさい科	えらべる科	ふるさと科
初等教育 1年			
" 2年			
" 3年	17 時間	18 時間	35 時間
" 4年	17 時間	18 時間	35 時間
中等教育①5年		35 時間	35 時間
" 6年		35 時間	35 時間
" 7年		25 時間	25 時間
中等教育②8年		50~60 時間	25~35 時間
" 9年		70~85 時間	20~35 時間



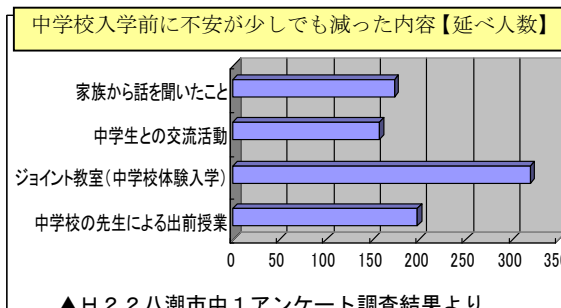
▲ふるさと科での稲刈り体験

プラン2

事業の充実を図ります。

■八潮市ジョイント教室を実施します。対象は6年生とし、「中1ギャップの軽減と教職員の小中相互理解」を目的に行います。

■ジョイント教室は中学校入学説明会と兼ねて実施します。各中学校ブロックでは内容を工夫して行います。



■教職員合同研修会を実施します。小中学校間の情報交換や分科会を行い、お互いの共通理解を深めます。

■教職員ジョイント研修(異校種体験研修)を実施します。小学校の教員は中学校へ、中学校の教員は小学校へ行き、チームティーチングとして授業に入り、交流研修を行います。

【平成22年度の感想】(1・2は教職員合同研修会 3・4は教職員ジョイント研修)

- 1 小中学校間の情報交換から、各学校の取組や子どもの様子がわかり共通理解が図られた。
- 2 お互いに各教科の課題を確認し、その課題解決を踏まえた授業を展開することができた。
- 3 中学生への指導方法について、研修を深めていけば、小学校の指導にもつながる。
- 4 小学校の授業では、考える時間や身に付ける時間がしっかり確保されている。

プラン3

小中一貫教育の研究(各校の取組)を推進していきます。

■市内全小・中学校を小中一貫教育研究指定校としています。平成22年度は、潮止中ブロックで小中一貫教育研究発表を実施しました。平成23年度は、大原中ブロックと八幡中ブロックで実施します。

【八潮中学校ブロック】



▲8/26教職員合同研修会

【八條中学校ブロック】



▲6/5第2回合同運動会・体育祭

【潮止中学校ブロック】



▲11/30小6と中2のジョイント教室

平成21年度には八潮中ブロック・八條中ブロックが研究発表を実施しています。



▲7/3小中合同懇談会

【潮止中ブロックの成果と課題】

○成果

- ・〈潮止中〉人間関係トラブルの発生数が3年間で半減する。
あいさつスキルがアップし、学校外から多くの評価を得た。
- ・〈中川小〉校内での人間関係トラブルが少なく、穏やかで安定感がある。
あいさつもよくできてきた。
- ・家庭や地域の学校に対する信頼や期待が高まってきた(学校評価より)。
- ・子どもの自覚や小中学校教職員の意識改革・協働が進行した。

○課題

- ・学級経営の充実。

【潮止中ブロック研究発表の感想】※PTA 関係者、他市から参加していただいた先生方から

- ・子どもたちの交流が実感できました。
- ・教育に関しては先生方にお任せすることになりますが、家庭での取り組みもとても大切だと感じました。このことを各家庭に発信できたら・・・と思いました。
- ・一貫した学習スキル・生活スキル等により、学びの連続性の成果を実感いたしました。

プラン4

小中一貫教育の研究(推進体制における取組)を推進していきます。

■小中一貫教育推進委員会検討部会による研究を進めます。検討部会では、小中学校の教職員(各部会に各校から1名選出)がそれぞれの専門性を生かし、小中学校の特性やよさ、指導方法の理解を深めながら、9年間を見通した一貫性のある学習指導や生徒指導等について話し合いを深めています。昨年度に引き続き平成23年度も、「けいかく部会」、「まなび部会」、「こころ部会」、「しえん部会」の4部会を開催し、小中一貫教育における成果や課題などについて検討していきます。

平成22年度「けいかく部会」の研究内容

- ・各中学校区における小中連携の立案
- ・小中一貫教育 Q&A の作成
- ・八潮市教職員合同研修会の計画立案
- ・八潮市ジョイント教室実施計画立案



平成22年度
「まなび部会」
の研究内容

- ・八潮Basicの検証と活用状況
- ・八潮Basicの修正



平成22年度
「こころ部会」の研究内容

- ・生活ガイド・学習ガイドの検証
- ・小中学校の連携を深められる項目の検討

平成22年度「しえん部会」の研究内容

- ・小中一貫教育における特別支援教育
- ・個別支援ファイルの内容・形式について
- ・個別支援ファイルの活用について

プラン5

小中一貫教育の周知を図ります。

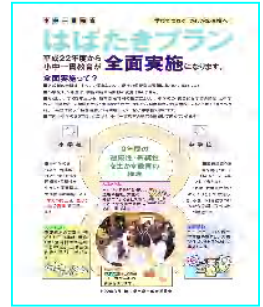
■小中一貫教育懇談会の開催やリーフレットの発行、また「広報やしお」への掲載など、あらゆる機会を活用し、保護者や地域の方たちに小中一貫教育の周知を図ります。



▲小中一貫教育懇談会【年6回開催】



▲はばたきプラン(H19～H21)八潮市HPからご覧いただくことができます。



プラン6

日々の授業の充実を図ります。

■小中一貫教育の推進にあたっては、日々の授業の充実が大変重要です。『学びでつなぐ たしかな連携』という重点テーマのもと、1時間1時間の授業で、何をどこまで身に付けさせるのかを明確にしていきます。こうして指導法を工夫改善することにより、ふるさと八潮を愛し、次代を担う心豊かな子どもたちを育成していきます。

子どもたちのよりよい成長、学力向上のために、 家庭での学習習慣を大切にしていましょ

～新学年での学校生活スタートに、家族で話し合ってみよう～

- 学習時間を決めよう
 - ※ 自主学習のめやす（八潮市学習ガイドより）
 - 1学年は20分、2学年は30分、
 - 3～7学年は10分×学年+10分、
 - 8・9学年は15分×学年
- 自分にあった学習の内容を考えよう
 - ※ 宿題はきちんとやりきろう
 - ※ 復習、予習は予定を立てて、見通しを持って取り組もう
 - ※ テーマを決めて読書（音読）をしよう
 - ※ 自分で興味をもったことを調べてみよう
 - ※ 時間に余裕があれば、苦手な教科に取り組んでみよう

30分を365日間積み重ねれば
10950分となる



学校でも「家庭学習」について話し合っています（写真は3/2中川小5学年授業・ジョイント教室）



私の宣言
毎日 分勉強します

埼玉県教育に関する3つの達成目標「学力（計算）」の本市正答率は次のように変わってきました！

☆小5では小数のわり算が約11%アップしています。

(平成20年度) $10.5 \div 4.2$ 《77.2%》
(平成22年度) $15.3 \div 5.1$ 《86.3%》

例年課題となる問題です。

$153 \div 51$ と答えは同じですよ
ね。もう少しで95%達成だ！！

☆中2では連立方程式が約11%アップしています。

(平成20年度) $2x - y = 9, x + y = 3$ 《70.9%》
(平成22年度) $3x - y = 1, x + y = 7$ 《81.6%》

例年課題となる問題です。県公立入試にも毎年出題されるので
解法をしっかりマスターしよう

問い合わせ

埼玉県八潮市中央一丁目2番地5 電話048-996-2111(内線398)
八潮市教育委員会 学校教育部 小中一貫教育推進室